

平成14年度コミュニティバス（ふれあいバス）利用実績

■ 概 要

住民のみなさんが公共施設を利用しやすく、また高齢者等で車を運転されない人の移動手段の確保を目的に、平成12年4月1日より町内の公共施設を循環するバスを運行しています。

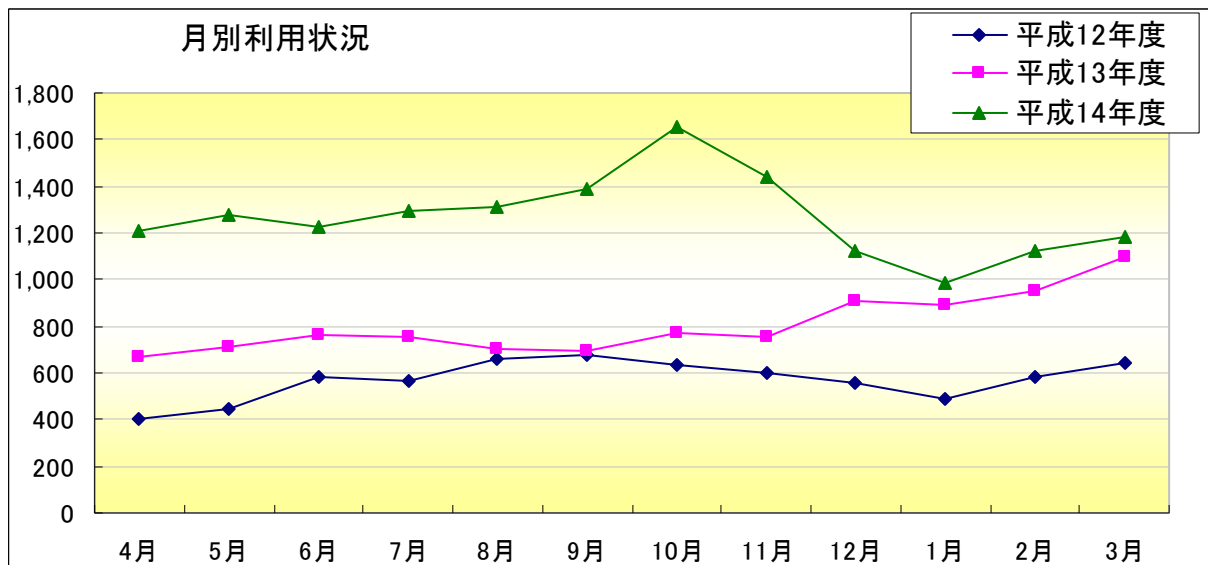
当初は1台で3コースを各コース週2日ずつ運行していましたが、平成13年11月22日より2台で4コースを各コース週3日ずつ運行しています。

運休日については、1台運行時は公共施設の休館日である月曜日であったが、2台運行より、北部コースを日曜日、南部コースを月曜日とし、年末年始を除き毎日運行していることになっています。

■ 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成12年度	403	449	582	569	663	680	636	600	557	491	587	644	6,861
平成13年度	671	708	766	751	700	693	771	756	910	888	948	1,094	9,656
平成14年度	1,207	1,278	1,223	1,291	1,308	1,386	1,655	1,437	1,125	987	1,125	1,187	15,209
対前年度比 (13年度対比)	1.80	1.81	1.60	1.72	1.87	2.00	2.15	1.90	1.24	1.11	1.19	1.09	1.58

※平成13年11月22日より2台運行



ふれあいバス利用者は、年々増加傾向にある。これは、制度が定着してきたことを表しており、当初の運行目的である交通弱者にとって有効な移動手段となっていると思われます。

また、平成13年9月以降利用者が大きく伸びている要因として阪急バス高齢者向け全線フリー定期券グランドパス65が発売され、ふれあいバスでも利用できるようになったことが考えられ、今後阪急バスで発売される阪急スクールパスによって、学生の利用も見込まれます。グランドパス65の利用割合は、全体の2割弱を占めています。

また、季節によっては冬季は若干悪い傾向にあり、秋口に利用者が増加する傾向があります。

バスを2台運行にしたことによる効果もあり平成12年度に比べ利用者は2倍以上となり、対13年度についても1.58%の増加となっています。

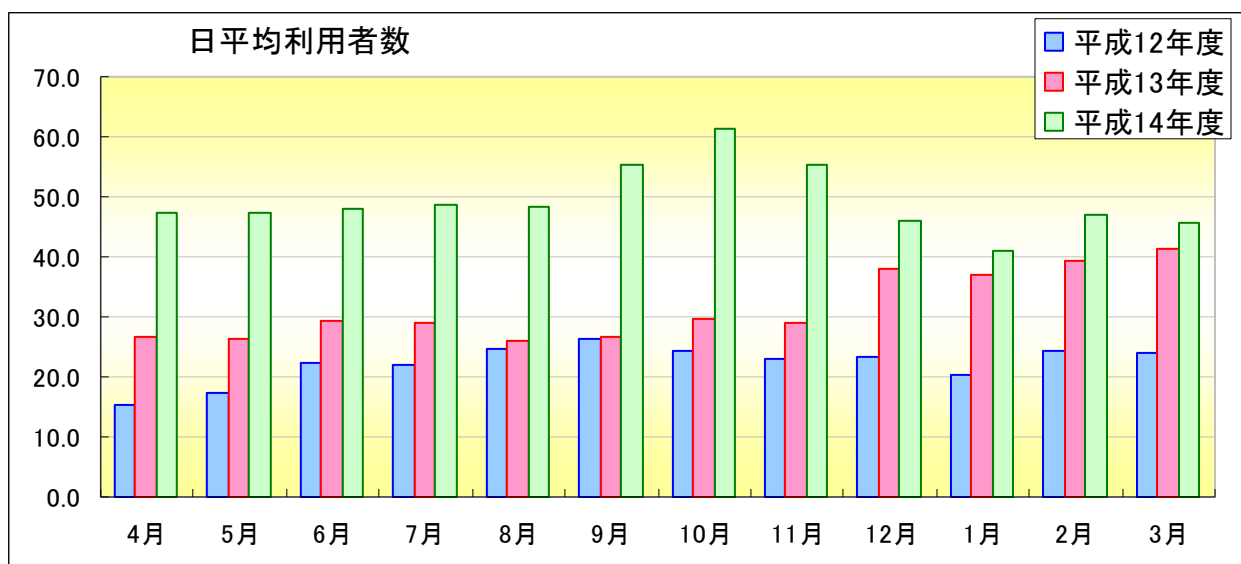
平成13年度運賃収入

	輸送収入額	利用者数	うちグランドパス利用者	グランドパス利用者割合	1人当たり平均運賃①		内グランドパス分収入
4月	96,319	671			144	4～8月の平均1人当たり②	1回あたり 52.69 円
5月	105,404	708			149		
6月	111,266	766			145		
7月	102,528	751			137		
8月	102,476	700			146	①/②	
9月	93,201	693	79	11%	135	0.93	4,163
10月	92,549	771	157	20%	120	0.83	8,272
11月	100,953	756	150	20%	134	0.93	7,904
12月	114,480	910	105	12%	126	0.87	5,532
1月	115,036	888	130	15%	130	0.90	6,850
2月	124,907	948	141	15%	132	0.92	7,429
3月	142,390	1,094	151	14%	130	0.90	7,956
合計	1,301,509	9,656	913	9%	135		48,106

グランドパスは9月15日より発売

■ 日平均利用者数

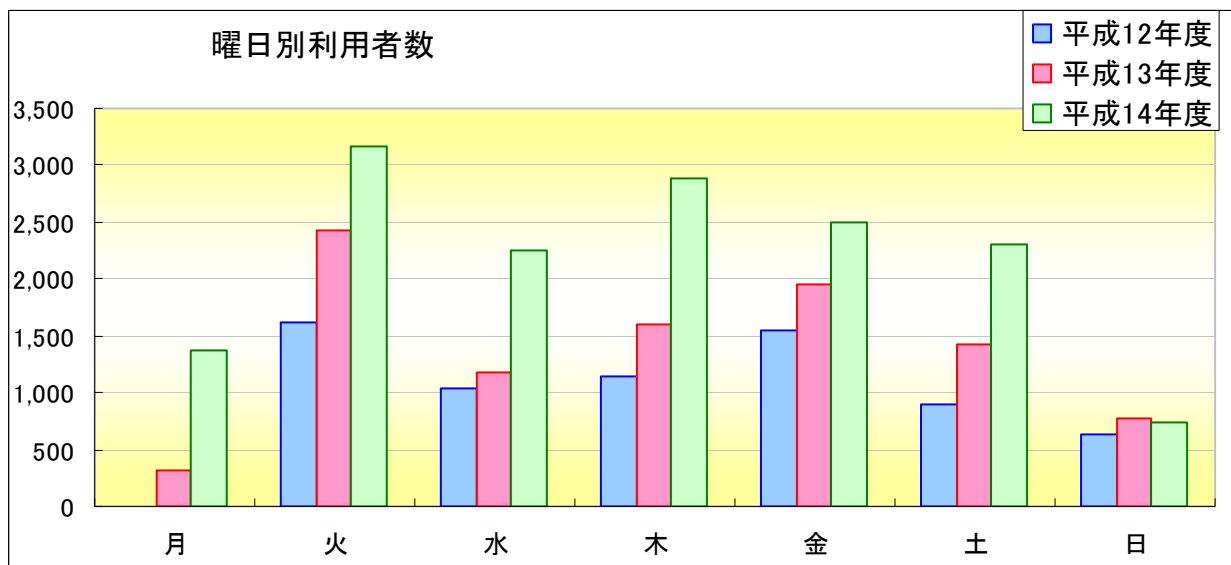
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成12年度	15.5	17.3	22.4	21.9	24.6	26.2	24.5	23.1	23.2	20.5	24.5	23.9	22.3
平成13年度	26.8	26.2	29.5	28.9	25.9	26.7	29.7	29.1	37.9	37.0	39.5	41.5	31.6
平成14年度	47.3	47.3	48.0	48.7	48.4	55.4	61.3	55.3	45.9	41.1	46.9	45.7	49.3
対前年度比 (13年度対比)	1.77	1.81	1.63	1.69	1.87	2.08	2.06	1.90	1.21	1.11	1.19	1.10	1.62



1台運行時の日平均利用者の最大は平成13年10月の29.7人であり、平成14年度になって、最大で平成14年10月の61.3人であり、最低でも41.1人と利用者は増加傾向となり、平均して利用者があることから日常生活における移動手段としての利用となっていると思われます。

■ 曜日別利用者数

	月	火	水	木	金	土	日	計
平成12年度	—	1,613	1,042	1,139	1,543	899	625	6,861
平成13年度	316	2,428	1,174	1,598	1,946	1,420	774	9,656
平成14年度	1,369	3,159	2,252	2,892	2,491	2,301	745	15,209
対前年度比 (13年度対比)	4.33	1.30	1.92	1.81	1.28	1.62	0.96	1.10

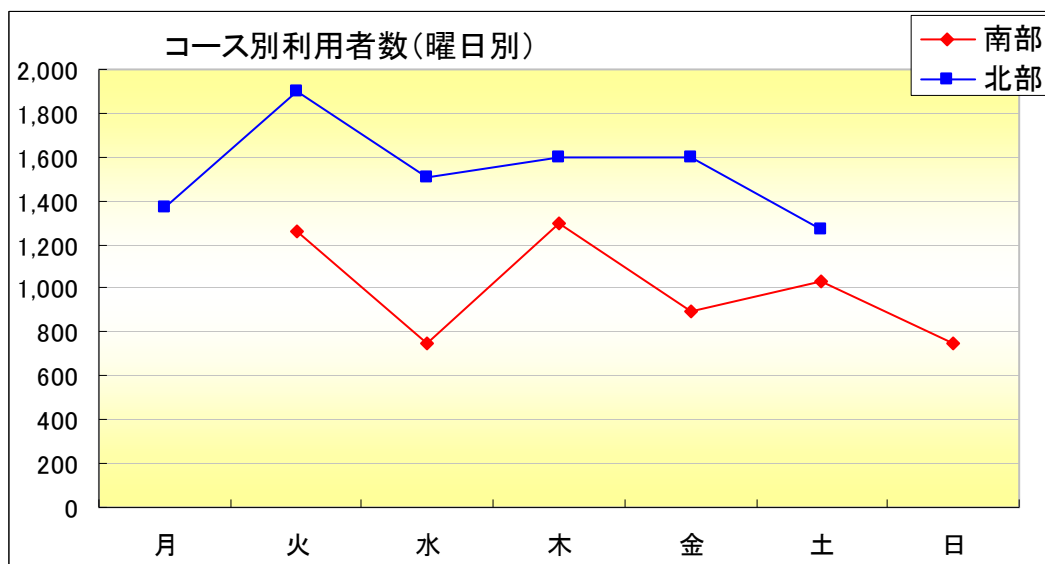


曜日別に見てみると火曜日、木曜日の順に利用者が多い。日曜日が極端に少ないのは、北部コースが運休のためです。

北部コース、南部コース別に利用状況を見てみると南部コースの水・金・日の利用者数が少ない。これは、南部2コースで内馬場～伏見台～つつじが丘～ふるさと館のコースです。北部コースは、平均して利用者が多い。

また、利用者数を見ても北部コースは南部コースの約1.5倍程度の利用者数となっている。

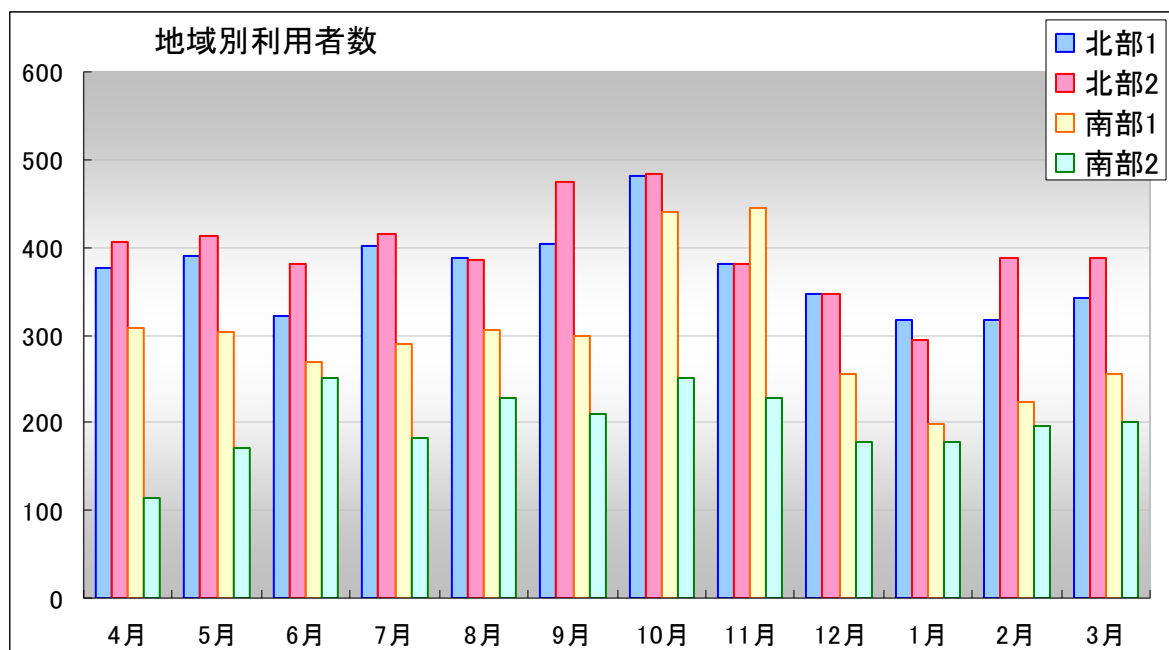
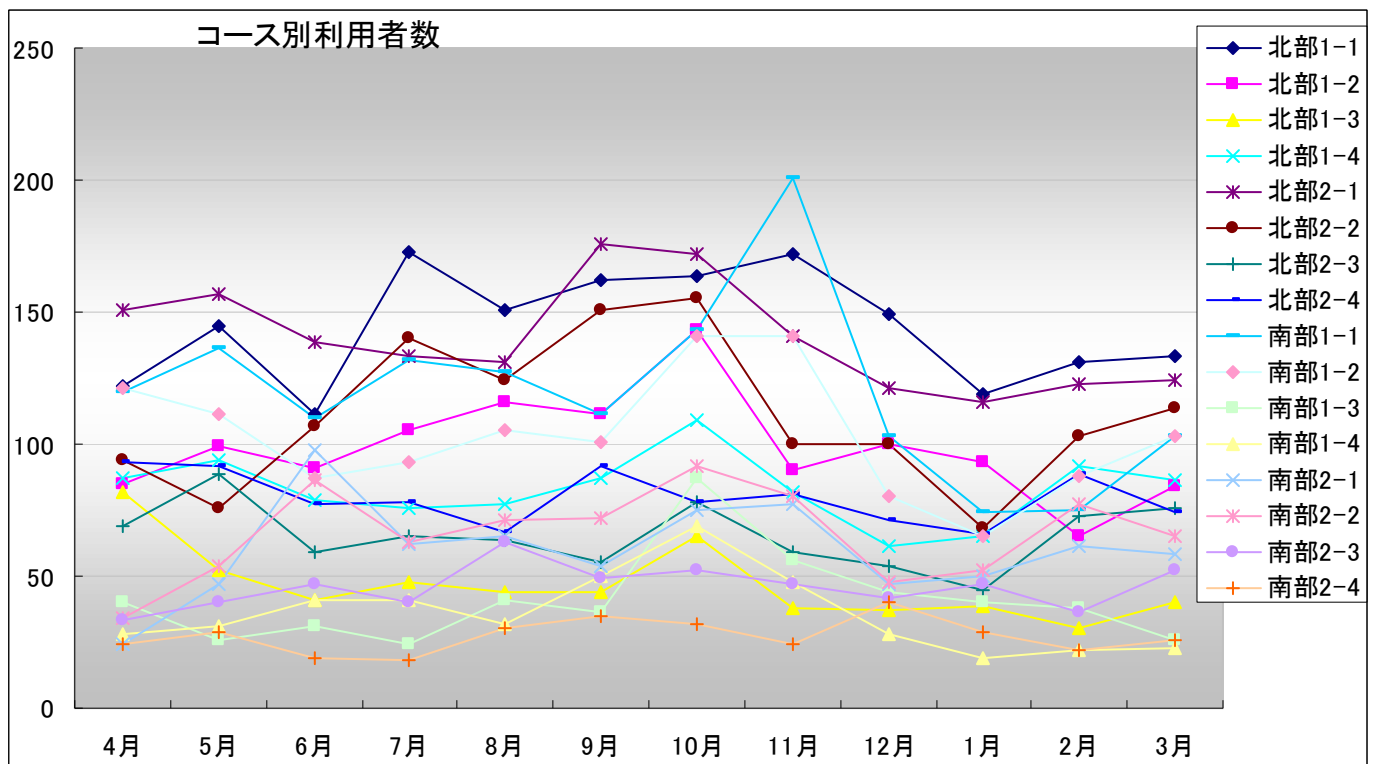
	月	火	水	木	金	土	日	計
南部	—	1,264	746	1,297	897	1,031	745	5,980
北部	1,369	1,895	1,506	1,595	1,594	1,270	—	9,229



■ コース別利用者数

14年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
北部 1-1	122	145	111	173	151	162	164	172	149	119	131	133	1,732
北部 1-2	85	99	91	105	116	111	143	90	100	93	65	84	1,182
北部 1-3	82	52	41	48	44	44	65	38	37	39	30	40	560
北部 1-4	87	94	79	76	77	87	109	82	61	65	92	86	995
北部 1	376	390	322	402	388	404	481	382	347	316	318	343	4,469
北部 2-1	151	157	139	133	131	176	172	141	121	116	123	124	1,684
北部 2-2	94	76	107	140	124	151	155	100	100	68	103	114	1,332
北部 2-3	69	89	59	65	64	55	78	59	54	45	73	76	786
北部 2-4	93	92	77	78	67	92	78	81	71	66	89	74	958
北部 2	407	414	382	416	386	474	483	381	346	295	388	388	4,760
南部 1-1	120	136	110	132	127	111	143	201	103	74	75	103	1,435
南部 1-2	121	111	87	93	105	101	141	141	80	65	88	103	1,236
南部 1-3	40	26	31	24	41	36	87	56	44	40	38	26	489
南部 1-4	28	31	41	41	32	50	69	48	28	19	22	23	432
南部 1	309	304	269	290	305	298	440	446	255	198	223	255	3,592

南部 2-1	24	47	98	62	65	54	75	77	47	50	61	58	718
南部 2-2	34	54	86	63	71	72	92	80	48	52	77	65	794
南部 2-3	33	40	47	40	63	49	52	47	42	47	36	52	548
南部 2-4	24	29	19	18	30	35	32	24	40	29	22	26	328
南部 2	115	170	250	183	229	210	251	228	177	178	196	201	2,388
計	1,207	1,278	1,223	1,291	1,308	1,386	1,655	1,437	1,125	987	1,125	1,187	15,209



運行コースは、1日2往復しており、1-1が午前往路・1-2が午前復路・2-1が午後往路・2-2が午後復路で分類している。

利用者数は、各路線とも2-1・2-2の午後の便の利用が少ない。特に南部1コースでは、午前に比べ半数以下である。

11月に南部1コースが北部コースを上回っているが、これは小学校の授業でふれあいバスを利用したことも要因の一つに挙げられます。

■ コース別利用者数

7.まとめ

利用者数が年々増加していることから、地域住民がふれあいバスに期待する部分は大きいと思われます。平成14年度に実施したアンケート調査等からもそのことは伺えます。

今後は、更に利用者の増加を考える場合、アンケート結果や利用者の要望で意見の多かったジャスコ帰りの利用形態の改善、運行時間の短縮、運行ルートの見直しなどを重点的に検討し利用者にとって、便利で親しみのあるバスを目指していく必要があります。